

【金沢区】令和4年第1回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和4年2月4日（金） 10時30分 ～ 11時40分
場 所	金沢区役所 5階1号会議室
出席者	<p>【座 長】竹野内 猛議員</p> <p>【議 員：4名】黒川 勝 議員、谷田部 孝一議員、高橋 のりみ 議員、佐久間 衛 議員</p> <p>【金沢区：30名】永井 京子 区長、小林 悦夫 副区長、木村 博和 福祉保健センター長、飯田 晃 福祉保健センター担当部長、松寄 尚紀 金沢土木事務所長、和知 治 金沢消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和4年度個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>2 その他</p>
発言の旨	<p>1 令和4年度個性ある区づくり推進費予算案について</p> <p>高橋議員：子育て応援事業に関して、現在、親子のつどい広場事業は、洲崎町の「ふきのとう」、六浦の「おりーぶ」と「たんぽぽ」、釜利谷の「ままのわ」の4か所で行っている。先日ビアレヨコハマの担当者と話をしている、並木地域での子育て支援が足りていないのではないかと思った。この地域でも、子育て支援を充実させてほしいと思うが、いかがか。</p> <p>藤浪こども家庭支援課長：並木地域で現在行われている子育て支援については、並木地域ケアプラザと富岡東地域ケアプラザで、それぞれ月に一回程度、子育てサロンを実施していて、独自の子育てサークル等もある。ただ、常設的な設置がないため、皆様のニーズを必ずしも満たしきれていない面もあるかと思う。ご意見として承らせていただきたい。</p>

高橋議員：4つのつどいのうち、一時預かりを行っているのは、たんぼぼだけなので、商業施設を支援する意味でも、一時預かりなどができるとう良い。

4年度の市の予算を見ると、医療的ケア児に関する予算がいくつか見られた。そういった医療的ケア児に関する、金沢区として、積極的に取り組んでいていただきたいと思うが、いかがか。

藤浪子ども家庭支援課長：子ども青少年局でも、いろいろと事業メニューがあるので、並木エリアでどういったことが可能か、子ども青少年局へ確認していきたい。ご意見として承らせていただく。

高橋議員：子どもの虐待に関して、被害者だけではなく、加害者である親への支援も必要ではないかと思うが、いかがか。現在、どのような支援をしているのか、教えていただきたい。

藤浪子ども家庭支援課長：通常だと、関係機関だけで集まってカンファレンスを行うが、加害者である親へ、より踏み込んだケアが必要と判断したケースについて、親御さんにお越しいただき、関係機関皆でどういうケアをしていくか検討する応援カンファレンスを行うことがある。まだまだ足りない部分も多いかと思うが、今後の課題として考えていきたい。

高橋議員：地域の魅力発見・発信協働事業について、コミュニティFMが4月開局と聞いているので、今、新型コロナ禍で落ち込んでいる商店街の活性化や防災のため、利用してはいかがか。

竹内総務課長：コミュニティFMについては、今年の春に開局を目指し、準備をしていると伺っており、多くの方々に発信する情報媒体として非常に有効な手段ととらえている。今後開局の準備が整い、コミュニティFMとしての活動や放送内容が具体的になったら、発災時の情報はもちろんのこと、それ以外にも区の様々な情報を発信できるツールとして、改めて連携について相談していきたい。

高橋議員：安心して暮らせるまちづくりについて、泥亀公園の近所に住んでいる方から、若者がローラースポーツを夜中にしていて、その騒音につ

いて、警察や土木事務所に相談しているという話を聞いた。昨日港湾局の予算研究会で、堤防が完成して、海釣り施設として開放され、手前側に駐車場を配備するという話を聞いたが、ここで若者がローラースポーツをできると良いと思う。有料でも良いので、利用者負担でできるような場所があれば良いのではないか。また、環境創造局でも話をしたが、15年ほどかかるという旧小柴貯油施設の公園整備も計画の見直しを行い、公園内にローラースポーツなどができる環境を作ってほしいと思っている。これは要望だが、区としてどのように考えているか。

米山区政推進課長：ローラースポーツは、オリンピック選手の活躍を機に、日本中で脚光を浴びていて、楽しむ方たちも増えていると聞いている。ローラースポーツのみならず、新しく出てきたスポーツをする場所というのは、少しずつ区民の皆様からのニーズも届いている。場所の整備については、管理者との相談があるが、そのニーズを区でしっかりと把握したうえで、局にも相談をしていきたい。

黒川議員：旧川合玉堂別邸の保全活用事業だが、旧川合玉堂別邸が焼失して以降、ずっと園庭の開放だけが続いている。旧川合玉堂別邸の設計図が残っていると聞いているが、復元に向けての動きは今どうなっているのか。また、長浜の一号停留所の現状についても教えてほしい。

米山区政推進課長：旧川合玉堂別邸は、文化財の指定をされていた場所で、焼失後、建物の再現というところまでなかなかたどり着いていない。まずは整備されている園庭の活用ということで、地域のNPOの皆様により月1回公開されており、地元の皆様方にもお越しいただいている。NPOによる公開だけではなく、周辺の学校の研究や活動の場として、活用の幅を広げている。地域での旧川合玉堂別邸の価値を高めながら、将来について考えていきたい。

長浜一号停留所については、国所有の施設、土地であるため、まずは国がしっかりと文化財を保存するべきということで、本市としては教育委員会を中心として、国と交渉をしている。地域から、ここを区民も利用する施設に活用できないかという話もある。土地や建物の売却に関わることで、跡地利用について話をするのは難しいが、地域のニーズをしっかりと把握していきたい。

黒川議員：川合玉堂別邸も長浜一号停留所も、地元の声を市や国に伝えていくことが大事だと思う。訴え続けていくことが大切だと思うので、毎年繰り返しになるかもしれないが、当局に伝えてほしい。川合玉堂別邸も将来的には復元してもらいたい。以前の川合玉堂別邸が、庭を見ながらお茶会や琴の演奏会を行うことができる素晴らしい施設だったことを覚えている。是非そういった声を区からも市役所へ上げていってもらいたい。長浜一号停留所についても、地元と調整のうえで、国に対して訴えていくことが必要だと思う。

続いて、金沢の「自然資産」ふれあい事業での、子ども達の海洋体験等について、具体的に教えてほしい。

米山区政推進課長：金沢の「自然資産」ふれあい事業では、横浜ベイサイドマリーナと連携して、船舶乗船体験や稚魚放流等の生物にふれあう体験を予定している。それぞれ一つの学校の一学年単位、50人規模を想定している。水中ドローンを用いた海洋探検についても、同じ規模を想定していて、これについては、画像をYouTube等で公開していきたいと考えている。

黒川議員：船舶や水中ドローンを用いた海洋教育を行うことができるのは、横浜18区の中でも金沢区のみ大きな特長だと思う。予算に限りがあると思うが、不公平のないように進めてほしい。

金沢区観光振興事業だが、金沢区には、金沢文庫、称名寺、瀬戸神社や富岡八幡宮など、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの場所がたくさんある。区役所でも、いろいろな企画をやってほしい。文化観光局にも話したが、横浜の観光といえば、中区や西区が中心になりがちなので、大河ドラマを契機に、郊外部の観光振興のひとつのモデルケースとして捉え、頑張ってPRしてほしい。これも区役所の側から文化観光局に、いろいろな企画を提案していくことが大事だと思うが、そのあたりの意気込みを区長から一言いただきたい。

永井区長：区内には源頼朝ゆかりの地など多くあるので、大河ドラマを契機として、広く金沢区の素晴らしさを伝えたい。具体的には、ゆかりの地の解説、マップやリーフレットの作成、パネル展等を行う予定で、また、横浜金沢観光協会では、シーサイドラインを使った車両への広告等も検討

している。大河ドラマを通じて、文化観光局にも応援をいただきながら、区役所を挙げて、金沢区の魅力を皆様に知っていただけるよう取り組みたい。

黒川議員：金沢区地域福祉保健推進事業で、中学生向け福祉教育の推進とあるが、具体的にどんなことをするのか。

秋野福祉保健課長：今年度、中学生向けのワークシートを作っている。富岡中学校をモデルとして、中学生向けの授業を技術・家庭の授業で行ってもらった。技術・家庭の指導要領で、地域の一員として自分に何が出来るか考えるというのが令和3年度から新たに加わった。是非地域福祉保健計画と一緒にできればということで、富岡中学校と、その地区の圏域である富岡地域ケアプラザと一緒に始まった。今年モデルの富岡中学校の授業では、富岡地域ケアプラザの声掛けで、地域の民生委員も授業に参加していただき、地域について考えるということワークシートを使って行った。令和4年度は区内の他の中学校にも声がけして広げていきたい。

黒川議員：中学生は、大災害の時の支援なども含め、非常に力になってもらえると思うし、若いうちからこういった福祉や、人のためになることを行うことで得られる喜びについて教育していってもらえたらと思う。来年度予算とは直接関係ないが、富岡倉庫地区とそれに隣接する国家公務員住宅について、富岡倉庫地区については、研究開発の拠点として経済局が管轄していて、隣接する国家公務員住宅は建物が野ざらしで何年も経っている。この2つについて、一体的に開発を考えると、それに向けての事業者向けのサウンディング調査をしてみるとか、そういうことを、都市整備局へ区役所の側から仕掛けていくことなどが必要ではないかと思うが、金沢区役所としての考えがあったら教えてほしい。

米山区政推進課長：富岡倉庫地区の利活用に関しては、政策局と連携しながら庁内利用照会や企業誘致などあらゆる観点から検討を進めている。こういう動きを踏まえつつ、跡地利用基本計画との整合を図りながら対応を進めていきたい。今年度は政策局において、跡地利用基本計画の具体化に向けたまちづくり調査を実施し、令和4年度の当該地の需要調査等を行うと聞いている。こうした機会をとらえながら、政策局、それから企業誘致

は経済局となるが、関係局とともに跡地利用について検討をしていきたい。国家公務員住宅の今後の計画については、国から何も示されていないが、機会をしっかりと捉えられるよう、窓口部署と関係構築を進めていきたい。

黒川議員：せっかく隣接していて、2つ合わせれば6ヘクタールと、かなり大規模な開発案件になる。一番近い駅は南部市場であり、駅の反対側は大きな商業施設が成功していて、非常にポテンシャルの高い地域になると思う。それぞれ別々に考えるよりも、やはり一括して何かできないかと、区役所側からアプローチしていく必要があるのではないかと思うが、区長からお考えがあれば聞かせていただきたい。

永井区長：大きな土地の開発ということになると、それぞれ色々な思いもあると思うが、指摘の土地は本当にポテンシャルが高いと考えている。交通の問題も一緒に考えていく必要があり、政策局が中心となって進めていくものと思うが、区の人口を増やしたいという思いもあるので、そういうことも含めて働きかけをしていきたい。

黒川議員：富岡倉庫地区とそれに隣接する国家公務員住宅を分けて考えるのではなく、一体として活用できないかというアプローチによるサウンディング調査は、提案する価値のある問題だと思うので、是非取り組んでもらいたい。同様に、福浦のテクノタワーと産業振興センターについても、経済局が所管してサウンディング調査をしたり、デベロッパーから意見徴収をしたりということを進めていると聞いているが、これも経済局まかせにせず、区役所側からも地域の声をよく聴いて、様々な提案をしてほしい。

2 その他（金沢区における新型コロナウイルス感染者の感染状況とその対応）

黒川議員：三師会をはじめとする、地元の診療所やクリニックとの協力は、現状どのように行われているのか。これから3回目のワクチン接種を進めるなかで、三師会にも色々とお手伝いをいただくとと思うが、どのように関わっていただく予定なのか。地域のクリニックや診療所でも、かなり状況

がひっ迫しているなか、ワクチン接種や検査の状況について、区役所が把握していることがあればご説明をいただきたい。

秋野福祉保健課長：三師会の皆様には本当にお世話になっており、感謝している。市では自宅療養の見守り支援を、各区の医師会協力の下で進めているが、金沢区では三師会と市との間で1月12日に協定を締結している。その協定の中で、重症化リスクのある、自宅療養になっているコロナ患者の方についての相談体制や、金沢区の三師会による輪番で往診の体制を組んでいただいている。これまでに実際に往診に行っていた例はないが、基礎疾患があるコロナ患者について、入院をさせた方がいいか、輪番の先生に相談をした事例はある。検査の状況については、患者が非常に多くなっていて、各クリニックでは、民間の検査会社に検査を委託しているが、検査結果が出るまでの時間が長くなってきている。先生方も非常に夜遅くまでやっていただいで、私共のところに21時、22時頃に発生届をたくさん出していただいているというような状況。

黒川議員：三師会の先生方が自宅療養のコロナ患者の方々に対して、重篤化した場合に往診の体制を組んでいるということは今日初めて知った。本当にありがたい。自宅で一人ないしは少人数の家族の中で不安な思いをしている方々が大勢いると思う。そういう方々に対して、安心安全につながるよう検討していただきたい。

高橋議員：集団接種に関して、全区に会場があるわけではないなか、金沢区に会場があるのは嬉しく思っている。その反面、区役所職員が大変になると思うが、引き続きよろしく願いしたい。

備 考